

1 燕市議会での意見等

令和6年12月定例会 議員協議会 令和6年12月3日（火）開催

No.	記載箇所	質問・意見（要旨）	回答（要旨）	計画修正の有無
1	83 ページ ■第8章 目標達成のための施策・事業 ■8-2 施策・事業一覧 ■1.1 鉄道の維持・改善要望	P83 の 1.1 鉄道の維持・改善要望における「④吉田駅のバリアフリー化の検討」のスケジュールについて、次期計画期間は JR との継続協議および基本構想の策定検討となっている。 吉田駅は越後線と弥彦線が交差し、乗降客のほか、乗換も多い駅であり、バリアフリー化を促進すべきと考える。促進に向けた動きを位置づけるべきではないか。	ご指摘を踏まえ、「④吉田駅のバリアフリー化の検討」の実施時期を修正いたします。	有
2	86 ページ ■第8章 目標達成のための施策・事業 ■8-2 施策・事業一覧 ■2.2 持続可能性の高い運行の検討	P84 で弥彦村自動運転車両の継続とあるが、市としても持続可能性の高い公共交通体制の確保を考えた時に、自動運転に向けた情報収集等をしたほうが良いと考えるが、見解を伺う。	本計画は燕市だけでなく、弥彦村を含めた燕・弥彦地域公共交通会議で作成しているおり、弥彦村内で運行している自動運転車両の運行状況については、市村間で情報共有しています。 今後、持続可能性の高い公共交通体制の確保にあたって、バス路線の再編などを検討する際は、弥彦村における自動運転事業の知見を活かしてまいります。	無

燕・弥彦地域公共交通計画（素案）の質問・意見及び回答

No.	記載箇所	質問・意見（要旨）	回答（要旨）	計画修正の有無
3	-	公共交通の利用は、民間バス、JRなどは通勤・通学の年齢層が中心で、タクシーや循環・デマンドバスなどは主に高齢者の利用が中心ではないか。よって、燕市・弥彦村の今後予測される年齢別推計値が少なくとも計画年度の7～11年度まで一覧で表記されるページを入れ込む必要があるのではないか。	年齢別推計値については、8ページに記載のあるとおり、国立社会保障・人口問題研究所が公表している推計値を基に算出しています。	無

2 弥彦村議会での意見等

令和6年12月定例会 議員協議会 令和6年12月4日（水）開催

意見なし

燕・弥彦地域公共交通計画（素案）の質問・意見及び回答

3 パブリックコメントでの意見等

(1) 意見の募集期間

令和6年12月4日（水）から令和6年12月24日（火）まで

(2) 意見の提出

人数...1人、件数...1件

No.	素案 ページ	質問・意見（要旨）	意見に対する燕・弥彦地域公共交通会議の考え方	計画 修正 の有無
1	87	バス広告は時代の流れと思うが、それはそれとして、どの自治体もバスのデザインが没個性。燕は巡回バスのデザインを思いきって、つき銅器をイメージした全カップパー（銅色）とステンレスをイメージした全シルバー（銀色）のボディーで走らせるとインパクトが強く、それ自体 PR、訴求効果が良いと思う。	バス広告を募集する際は、企業からの協賛等の運行支援を受けることだけを目的とせず、燕市、弥彦村の周知となるようなデザインとなるよう検討してまいります。	無

燕・弥彦地域公共交通計画（素案）の質問・意見及び回答

4 燕・弥彦地域公共交通会議での意見等

令和6年度第4回燕・弥彦地域公共交通会議 令和6年11月18日（月）開催

No.	素案 ページ	質問・意見（要旨）	回答（要旨）	計画 修正 の有無
1	-	自動運転実証実験について、現行のルートでは有人のマイクロバスで十分なのではないか。公共交通機関に乏しい弥彦駅から彌彦神社までのシャトルバスに転用すればJR利用者等も増えるのではないか。	<p>マイクロバスで運行する場合、年間運行経費は約2,000万円、一方で自動運転車両を運行する場合、車両購入費や運行経費に対して国庫補助金を活用できましたので、自動運転車両での運行を実施しました。</p> <p>また、弥彦駅や彌彦神社の周辺を走らせるべきとのことですが、本事業は当初より観光ルート化も視野に入れて実施しています。現在のルートで、安全安心な運行実績を積み重ねて、自動運転の安全性を確立しながら観光ルート運行に着手したいと考えています。加えて、現在走行しているルートも含めてJR越後線・弥彦線、やひこ号等の既存公共交通機関との接続性を高めて利便性の向上を図りたいと考えています。</p>	無

燕・弥彦地域公共交通計画（素案）の質問・意見及び回答

No.	素案 ページ	質問・意見（要旨）	回答（要旨）	計画 修正 の有無
2	-	<p>佐渡市で運行している高速かつ定員が多いバスを用いて、自動運転実証実験のご検討をお願いしたい。</p>	<p>佐渡市の実証実験におけるバス車両は定員 15 名、最高時速 30 キロの車両が使用されていて、運行ルートは全長 36 キロと非常に長いルートであり、道路幅員が 7m 以上、歩道もしっかり整備されている運行ルートを走行しています。一方、弥彦村の自動運転実証実験の運行ルートは非常に狭い集落内の道路を走行しており、場所によっては道路幅員が 4m 以下の道路もあります。安全性を考慮しますと、現在使用しているコンパクトな車両が適していると考えています。</p> <p>今後、走行するルートに必要な輸送量や人員に応じて、より大きく、より速い速度で走行可能な車両を使用することを検討します。</p>	無
3	-	<p>スワロー号または燕市コミュニティバスの小池地区への運行についてご検討をお願いしたい。</p>	<p>現在小池地区では、越後交通株式会社の路線が運行しており、平日朝と夕方に分水駅と燕駅間に 2 便が運行しております。同じく平日の日中と夕方に三条から分水・寺泊方面に 4 便、分水・寺泊方面から三条に朝に 2 便、夕方 1 便といった状況となっています。同地区にコミュニティバスを運行することによる既存事業者への影響もありますので、小池地区へのバス運行の検討は慎重に判断させていただきます。</p> <p>必要に応じて周辺自治会などを通じて時間帯や利用用途などの需要を把握した上で、どの交通手段が適しているのか等を検討します。</p>	無